

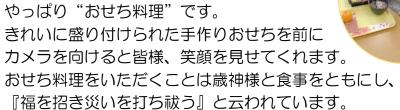


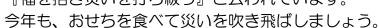




## 1月1日昼食風景













ソフト食













# 昨年、作ったしめ縄リース居室前に飾っています









入居者様のお部屋の入口・お部屋の中にしめ縄リースを飾り、新しい年を 迎えました。







お誕生日おめでとうございます



社会福祉法人リベルタ ホームページ http://www.liberta.or.jp/

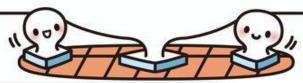
編集責任者 仙石 正哉

白寿荘だより ネット版 http://www.liberta.or.jp/hakujyu/category/hakujyu-tayori

白寿荘恒例『お餅つき』が、新年1月9日に開催されまし た。昨年末、インフルエンザが蔓延し体調を崩された方が 数人おられ、各フロア間の移動も中止として、広がりが治 まるのを待ちました。年明けにはインフルエンザも収ま り、お餅つきができるようになりました。

杵を持つ手が不安な方は職員がいっしょに杵を持ち、お 手伝いさせていただきました。「ひとりでも大丈夫!」と 言われる方は、力強く杵を振り下ろされていました。





















































### \*餅つきの由来・歴史\*

日本には稲作信仰というものがあり、稲は「稲魂」や「穀霊」が宿った神聖なものだと 考え、崇められてきました。稲から採れる米は人々の生命力を強める神聖な食べ物で あり、米をついて固める餅や、米から醸造される酒はとりわけ力が高いとされていま す。

そこで、祝い事や特別な日であるハレの日に、餅つきをするようになりました。 餅つきは一人ではできないため、皆の連帯感を高め、喜びを分かち合うという社会的 意義もあります。そして、お正月には「鏡餅」、桃の節句には「菱餅」、 端午の節句には「柏餅」というように、行事食としても定着していきま

> した。とりわけ日本の行事文化の大黒柱であるお正月は お餅が重要な役割を果たすので、年末に餅つきをするよ うになったそうです。

